

雪化粧で春を待つ
八重三山



きたひろしま

議会だより

vol.3
2006・2・17

年頭の挨拶 P2

第3回定例議会 (平成17年11月9日～18日) ... P2

平成16年度旧4町決算 10ヶ月 (平成16年4月1日～平成17年1月31日)

平成16年度新町決算 2ヶ月 (平成17年2月1日～平成17年3月31日)

反対討論

一般質問 10議員が町政を問う P4

陳情・発議 P9

第4回定例議会 (平成17年12月13日～22日) ... P10

平成17年度補正予算・反対討論

一般質問 23議員が町政を問う P12

条例制定及び一部改正・請願・発議 ... P23

委員会報告・傍聴記 P24



年頭のご挨拶

北広島町議会議長

田村 忠 紘

北広島町の皆さま、明けましておめでとうございます。皆さまにはご家族お揃いでご健勝で新春をお迎える事とお慶び申し上げます。昨年の十二月初旬から降り始めた雪は、留まる所を知らず降り続き、遂に十二月としては未曾有の積雪をもたらしました。そして私達は、計り知れない苦痛を被りながら新春を迎えました。

北広島町におきましても甚大な被害がありました。屋根からの落雪により尊い一命が失われました。除雪作業中の事故による負傷者も続出し、家屋やビニールハウス等の損壊も多発しました。改めまして被害を受けられました皆さまに衷心よりお見舞いを申し上げます。同時に、今後も細心の注意をお願い申し上げます。

北広島町が誕生して一年が経過しました。合併前と比較しての功罪については、皆さまそれぞれご所見をお持ちだと思います。その両面について私ども議員にお聞かせ頂きたいと思えます。

ご意見の集約を図りながら合併二年目の町政に反映させてまいりたいと思えます。「合併してよかった」と言われるような町づくりに向けて、渾身の努力を続けてまいる覚悟でございます。本年も議会に対し、ご叱正とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに臨み、皆さまのこの一年のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。併せて北広島町が希望に満ちた発展を続けていく事を祈念致します。年頭のご挨拶と致します。

平成17年 11月定例議会

会期:11月9日
~18日

平成16年度旧4町決算
平成16年4月1日
~平成17年1月31日
10ヶ月

旧豊平町は賛成多数
他は全員賛成

平成16年度会計別歳出決算額 (旧4町合計)

一般会計	126億2,389万9千円
国民健康保険特別会計	16億8,271万9千円
老人保健特別会計	28億3,334万0千円
介護保険特別会計	16億 118万9千円
農業集落排水事業特別会計	3億8,398万2千円
下水道事業特別会計	5億8,194万3千円
簡易下水道事業特別会計	2億9,154万1千円
雄鹿原診療所特別会計	1億5,298万8千円
八幡診療所特別会計	2,159万0千円
芸北歯科診療所特別会計	3,344万6千円
原診療所特別会計	1,752万0千円
電気事業特別会計	3,649万6千円
住宅団地等開発特別会計	804万6千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,269万1千円
結婚支度金貸付事業特別会計	0千円
旧山県東中部消防組合	3億7,862万2千円
旧山県東中部福祉衛生組合	2億1,948万7千円
合 計	208億7,949万9千円

決算審査報告及び意見

北広島町監査委員

上倉 國利
杉本 武信

平成十六年度旧四町(芸北町・大朝町・千代田町・豊平町)一般会計、特別会計、山県東中部消防組合会計、山県東中部衛生組合会計歳入歳出決算、基金運用状況及び財産について審査した結果、一部指摘事項を除き、概ね適切に処理されていた。

監査意見として、

合併を前提とした十か月とい

う決算であり、審査を行うにも関係予算書、予算執行状況等も把握が難しい中、旧町から新町への引継関係を中心に「差引残高、基金状況、地方債状況、収入未済額」を中心に審査を行った。

審査の過程においては、合併への準備期間が短く予算細部の調整ができていない部分、事務分担が明確となっていない部分等が多数見受けられたので、合併後には未調整部分の解決へ努力され、新町建設計画事業へ邁進されることを切望する。

平成16年度新町決算

平成17年2月1日
～平成17年3月31日

2ヶ月

全員賛成

決算審査報告及び意見

北広島町監査委員

上倉 國利・杉本 武信

提出された関係諸帳簿並びに証書類と照合した結果、適正であると認める。

実質二か月間の決算であり、新たな事業展開も行えない状況で、旧町の残務整理、合併後の調整事務、通常事務等が行われた。資料として各会計別決算額、基金の状況、一般会計の歳入歳出の状況等を検討した。

監査意見として、

今決算は合併二か月という決算

平成16年度新町会計別歳出決算額

一般会計	52億6,008万5千円
国民健康保険特別会計	5億1,881万0千円
老人保健特別会計	8億5,599万5千円
介護保険特別会計	5億 564万6千円
農業集落排水事業特別会計	1億7,126万8千円
下水道事業特別会計	2億5,759万7千円
簡易水道事業特別会計	2億 713万1千円
雄鹿原診療所特別会計	3,859万3千円
八幡診療所特別会計	1,026万1千円
芸北歯科診療所特別会計	800万6千円
原診療所特別会計	500万4千円
電気事業特別会計	1,053万1千円
住宅団地等開発特別会計	2,564万0千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,528万9千円
結婚支度金貸付事業特別会計	76万3千円
合 計	78億9,061万9千円

町債残高

平成17年3月31日現在

会計名	現 在 高
一 般 会 計	250億1,234万9千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	4,869万5千円
雄鹿原診療所特別会計	2,073万9千円
八幡診療所特別会計	524万5千円
介護保険特別会計	900万0千円
簡易水道事業特別会計	25億 642万2千円
農業集落排水事業特別会計	42億4,024万0千円
下水道事業特別会計	50億7,825万6千円
電気事業特別会計	5億4,093万5千円
住宅団地等開発事業特別会計	1,260万0千円
小 計	374億7,448万1千円
水 道 事 業 会 計	8億7,596万6千円
豊平病院事業会計	12億6,744万2千円
合 計	396億1,788万9千円

基金残高

平成17年3月31日現在

基金の区分	現 在 高
財 政 調 整 基 金	1億 600万3千円
減 債 基 金	2,998万4千円
国民健康保険財政調整基金	2億5,478万2千円
地 域 福 祉 基 金	3,144万6千円
介護給付費準備基金	4,309万8千円
ふるさと水と土の保全基金	7万8千円
簡易水道事業財政調整基金	95万0千円
奨 学 基 金	652万3千円
こもれびの森林オーナー制度基金	937万8千円
地域活性化推進基金	1,394万3千円
電 気 事 業 基 金	1,101万2千円
スノースポーツ振興基金	500万0千円
総合運動公園建設基金	8万9千円
養護老人ホーム仁愛園舎改修基金	5万1千円
し尿処理施設改修等基金	2,061万9千円
消防組合財政調整基金	4172万0千円
芸北財産区基金	2,500万0千円
特別導入事業基金	366万4千円
高 額 医 療 基 金	300万0千円
用 品 調 達 基 金	380万0千円
土 地 開 発 基 金	3,699万8千円
合 計	6億4,714万6千円

決算状況から推測すると、経常

見とす。

損事務を行う場合に、一元管理が行われていないと整合性がなくなるので、滞納者名寄せリスト等を活用しながら、一元管理が望ましい。

源流域の自然と田園文化が息づく『やまなみ中央タウン』北広島町を大きく躍進させて、町民が合併してよかったと実感できる北広島町づくり、なお一層努力されることを祈念し、平成十六年度北広島町一般会計及び一四特別会計歳入歳出決算の審査報告並びに意見とする。

であり、合併後の事務調査、旧町の残務整理が主と思われるが、収入未済額が各会計合わせて二億八五〇三万八千円、うち滞納繰越分一億九三六一万一千円となっており、各課対応の徴収事務では、重複項目滞納者への滞納処分・不納欠

収支、基金残高、地方債残高が予想以上に厳しいものになっている。この状況に対処するため、行財政改革に努め健全な財政運営が図られることを期待する。

合併後には執行者の方針、執行者・職員間の信頼関係、事務処理方法・考え方をよく調整して意志の疎通を図り、事務の流れに支障をきたすことのないよう改善に努め、町民の福祉向上を願うものである。

反対討論 松田 実議員

平成十六年度豊平町一般会計及び国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

決算審査特別委員会委員長の報告は、豊平町部会の審査報告を承認し、認定することですが、問題の林道整備委託費は予算を超えたもので支払不能となり、新町で賠償金として処理されたものである。

また、国保会計は一時借入限度額を大幅に超えた専決処分であり、議会の機能が疑われるものです。

この結果、旧豊平町民の誇りと名誉は傷つき、北広島町民の信頼を失わせています。

議会の対応について町民の関心は深く、これを議会が認定することは好ましくありません。

を問う

たちの町づくり

員が一般質問を行いました。

行政

問

安心して利用できる生活相談について

新しい相談所のあり方について考えていきたい



中田 節雄

問

社会生活が多様化する中で、様々な問題が発生し、対応に苦慮されている方が沢山おられます。

旧町ごとに相談会のあり

方は色々ですが、顔見知りの相談員では相談しにくいと言う声もあります。

安心して相談に行けるよう、生活相談として統一し、環境を整備するべきと考え

ます。

答

毎日の暮らしの中で起こる悩み事や心配事について、相談者のニーズや利便性を考慮しながら、利用しやすい相談所としていきます。

今後、相談の提供体制のあり方、広報の仕方等について、町民ニーズに応えるよう、社会福祉協議会、相談員の方と協議しながら考えていきます。

問

草刈条例はどうなる？
形を変えた草刈条例の改訂と存続について伺います。

答

旧町毎に類似の制度もあり、地域づくり・コミュニケーションづくりの支援体制として検討していきます。

行政

問

米海兵隊岩国基地、空母艦載機部隊及び夜間離着陸訓練について

基地強化であり県北会議と連携していく



松田 実

問

米軍再編問題で、岩国基地移転が日米政府間で合意され、周辺市町村住民の生活に多大な被害と不安が増大しています。

今日まで「米軍の超低空飛行訓練の即時中止を求める県北会議」で取組みがされてきましたが、住民の生命、財産を護り、住民生活

への被害や不安の解消は行政の責務と考えます。

答

日米両政府合意に基づき、十一月四日県に説明があり、五七機が岩国に配置され、夜間離着陸は低騒音機四機で行われるが、基地強化で容認できない問題です。

問

町として低空飛行の情報収集を行っており、県北会議連絡会で要請書を提出しており、今後も関係機関と連携していきます。
義務教育費国庫負担制度廃止について

答

義務教育費国庫負担金制度が廃止されると、財政力の弱い自治体では教育格差が生じる不安があります。

答

税源移譲が確実に行われるべきで、格差不安の解消を働きかけます。



室坂 光治

行政

問

高齢者保健福祉施策の取り組みについて

答

地域と連携し支え合うことが必要

問

先日豊平エリアで、一人暮らしの方が自宅で倒れたのですが、家族の方に連絡が取りにくく、ようやく連絡がとれました。高齢者保健福祉計画の将来像は「安心していきいきと自分らしく暮らせる町」。

答

一人暮らしの高齢者で、生活上の支援を必要とする方に対する現状は非常に厳しい状況です。これからの地域生活支援体制の構築をどのよう方向づけていけるのかお聞きします。



杉本 武信

行政

問

町勢発展のため住宅と教育の充実を

答

地域通貨による助成を準備中

問

企業誘致が進む中、住宅が不足しています。町勢発展のため、住宅や用地の供給に積極的に取り組むべきではないですか。また町外からの定住が進まない理由の一つに教育のことがあります。県下でも本町の教育水準

答

住宅供給は民間活力を借りながら進めます。住宅供給は高いという事です。この事を保護者に理解いただき、定住への不安解消に努めるべきではありませんか。

新規定住者には地域通貨で助成する制度を検討しています。

芸北地域で実施した、「学校と家庭と地域を結ぶ教育の集い」を広く展開するなど、公開と評価の原則に立ち、地域・保護者の理解を求めます。

高齢者福祉



行政

問 地方分権による事務事業の移譲について

答 地方分権により体力をつけ住民に応えたい



高原 和彦

問

合併し十ヶ月、地方分権の受け皿の成果ともなる、県から事務移譲の受け入れは、住民が期待する項目かを確認・整理し、より多くの町民の受益となり、サービスの向上と

答

身近に感じ、評価できるところが、新しい町づくりに向けた取り組みだと思いがどうでしょうか。

の特性・特長を踏まえ、住民がこれまでで不足と思い、また望んでいた事務事業について十分検討し、住民の理解を確認しつつ、権限の移譲を受けていきます。



本庁3F事務室

また職員の事務能力の向上等に努め、町民の期待に応えるよう取り組みます。

教育

問 学校での事故等の対応について

答 一時的に保護者が負担する



梅尾 泰文

などの対処対応についてお聞きします。

仮に体育の時間に跳び箱から落下し、腕を骨折したとすれば、教師の場合は労災保険・公務災害の適用でしようが、生徒・児童・保育児の場合は、それらの処置・対応、治療費負担、そして学力保障についてど

うされていますか。

答

各学校で作成している危機対応マニュアルで対応しています。全員災害共済に加入しています。

学力保障は病状に応じて対応しています。治療費については一旦、自分の保険

証を使い三割分支払い、のちに払戻しの手続きを取り、給付を受けます。

は難しく、修理等に対応していきます。

問

児童数一〇〇人の八重東小学校にプールがありません。四〇〇m歩いて町民プールまで行きます。

通学路に信号を！

問

有田の通学路が変則六差路で、交通事故多発地点です。早急に信号機の設置を！

答

元千代田中学校のプール（現町民プール）を使って下さい。新設

答

危険箇所と認識しています。警察など関係機関に再度要望します。

問

学校で通常の授業中にケガをした場合



亀岡 章治

産 業

問

来年産米の基準反収見直しで
更に転作面積は拡大か

答 十八年度は転作増で
米の生産数量は削減される

問

昨年の米作は台風により大不作、今年

は過去最安値の米価で、農家の生産意欲は減退の一途、更なる転作拡大を図る基準反収の見直しは許せません。情報と対策を伺います。

(一) 本町の平均基準反収は、

答

(一) 四八〇～五〇六キロ

(二) 米余り要因の一つ、外米の輸入量は。
(三) 基準反収見直し内容は。
(四) 来年産米生産調整対策は。

産 業

問

農業生産法人の育成を問う

答 集落法人連絡協議会を中心に行う

問

町内には一五法人が設立されておりま

す。それぞれ特徴ある法人経営をされており、米価下落で法人経営は限界にきており、苦境に立たされております。設立後の支援を含めた運営面での指導育成こそが極めて重要な課

答

農協では法人の生産した米を北広島米として量販店に出荷する取り組みを始めております。町としては、売れる米づ

題であります。

農業振興と共に今後の取り組みについて伺います。

アスベストの対策は？

問

アスベスト使用調査、その後の結果と今後の救済対策はどのようになれますか。

答

二〇九施設の内使用されていないと確認

認められた建物二〇七、残り二施設は調査中です。救済対策は、国・県の動向を見守りながら対応してまいります。

基礎基本定着調査をどう生かすのか？

問

基礎基本定着状況調査結果をどう生かしますか。

答

課題を明確にし、教師の指導と授業改善を図ってまいります。



麦刈り

産業

問 畜産農家の堆肥は需要と供給のバランスが取れているか

答 土づくりを進めていくことが必要



浜田 芳晴

問

リサイクル法が施行され、畜産の排泄物、バーク材、汚泥などの材料で肥料化され、町内の畜産農家も堆肥舎に高額の投資をされ、良質の堆肥を生産されています。

答

現在、芸北エリアは堆肥センターから

異業種のものも一体となつて考えないと供給過剰になるのではと心配です。考えを伺います。

草地へ、大朝は耕種農家に五七九トン、豊平は個人堆肥舎から共同散布、千代田は法人対応でと、一部の物を除いてバランスが取れていません。
今後は異業種の堆肥も含め、耕種農家の所得にはすぐ結びつかないが、必要性を高めていくことが大切であると考えます。

その他

問 民営化の流れと指定管理者制度の導入について

答 指定管理者制度の導入は原則公募とする



真倉 和之

する中で、公の施設の管理を効果的、効率的に活用するには、民間のノウハウと活力を導入し、民間の力で

今まで以上のサービスの提供は可能です。

平成十八年九月一日までに指定管理者制度に移行されますが、この制度と公募

の基準についてお伺いします。

答

本町の公の施設は、運動公園・道の駅・公民館等三四九施設で、旧町で指定管理者制度を導入済みが二九施設あります。当面直営の施設は小中学

校、人権センター、下水道施設です。
制度を導入する場合は原則公募とします。指定管理者制度を導入する基準と公募を行う基準は現在作成中です。

問 財政改革の取組みは？

国の動向や本年度の決算見込みを踏まえ、財政改革にどう取り組んで行かれますか。

答

平成十八年度の交付税等の交付金・国



千代田運動公園

県支出金は約三億五千万円の減が見込まれ、財政推計をたて改革に取り組みます。

陳情審査……採択

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書

(提出者) 広島県教職員組合 北広島支区支区長 梅田 司

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情書について

反対討論

杉本武信議員

永年要望してきた地方分権がいよいよ実現の時を迎え、全国町村議長会は国と交渉して頑張っています。その背後で、分権に反対するのはいかなるものでしょうか。

財政的には、三位一体の改革により補助金に替えて税源が移譲されます。

教育は、国主導の全国画一的なものから、地域や保護者に理解・納得され、地域や保護者の願いがかなう新しい教育が求められています。

世界の先進国の教育は、このように地方自治体の責任で行われています。日本もようやくその段階に来て、反対の立場をとるのは時代に逆行しています。

賛成討論

藤田重昭議員

本件の意見書の提出について、賛成の立場で討論を行います。

義務教育は、国民として必要な基礎的資質を培うものであり、全国的な教育水準や教育の機会均等は、憲法及び教育基本法で保障されているものです。これまでは現行の義務教育費国庫負担制度により、教育水準や機会均等が確保されてきましたが、この制度の廃止・一般財源化は、財政基盤の弱い自治体が多い中、市町間に教育水準の格差が生じることが必至の状況と考えます。「教育は国づくり、地域づくりの礎である」と言う信念のもと、子どもたちへ最善の教育環境を提供する観点から、現行制度の堅持を強く求め、賛成討論とします。

議員発議……可決

「新しい地方議会制度の構築を求める意見書」の提出について

新しい地方議会の構築に向けて、議会本来の機能を発揮して「安心して暮らせる北広島町」を目指すため。

内閣総理大臣

総務大臣

法務大臣

衆議院議長

参議院議長

平成十七年十一月十八日

広島県北広島町議会

「米海軍空母艦載機部隊及び夜間離着陸訓練(NLP)の岩国基地移転に反対する意見書」

「米軍再編問題」で日米両政府は、米海軍厚木基地の空母艦載機部隊と同部隊の夜間離着陸訓練(NLP)を米海兵隊岩国基地に移転する方針を合意しました。

このことにより、これまでもあった超低空飛行訓練等による住民の生命、生活の侵害がますます著しくなることは明らかであります。

住民の生命、財産を護り、住民生活への被害や不安の解消を図るために、米海軍空母艦載機部隊及び夜間離着陸

訓練(NLP)の岩国基地移転に反対する意見書を国の関係機関へ送付するものです。

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

総務大臣

外務大臣

防衛庁長官

防衛施設庁長官

平成十七年十一月十八日

広島県北広島町議会

「義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書」の提出について

義務教育は、国民として必要な基礎的資質を培うものであり、全国的な教育水準や機会均等を確保することは、国の責務である。

子どもたちへの最善の教育環境を提供するために、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書を関係機関へ送付するものである。

内閣総理大臣

総務大臣

財務大臣

文部科学大臣

衆議院議長

参議院議長

平成十七年十一月十八日

広島県北広島町議会

会期:12月13日～22日

平成17年 12月定例議会

町道除雪費を大幅増として多様な事業

補正予算

一般会計補正予算（全員賛成で可決）	8,000万円を減額して164億8,000万円に
国民健康保険特別会計補正予算（賛成多数で可決）	7,904万3千円を追加して23億2,570万円に
住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（全員賛成で可決）	113万7千円を減額して1,355万円に
下水道事業特別会計補正予算（全員賛成で可決）	500万円を追加して9億4,500万円に
農業集落排水事業特別会計補正予算（全員賛成で可決）	1,060万9千円を追加して4億1,730万円に
介護保険特別会計補正予算（全員賛成で可決）	1万4千円を追加して22億6,770万円に
簡易水道事業特別会計補正予算（全員賛成で可決）	347万4千円を追加して7億1,840万円に
直診雄鹿原診療所特別会計補正予算（全員賛成で可決）	56万を減額して1億7,580万円に
直診八幡診療所特別会計補正予算（全員賛成で可決）	44万9千円を追加して3,480万円に
直診芸北歯科診療所特別会計補正予算（全員賛成で可決）	18万9千円を減額して4,100万円に
住宅団地等開発特別会計補正予算（全員賛成で可決）	599万9千円を追加して1,262万3千円に
豊平病院事業会計補正予算（全員賛成で可決）	99万円を追加して8億315万1千円に
水道事業会計補正予算（全員賛成で可決）	1,538万5千円を減額して1億3,309万8千円に

『補正予算の主な内容』

一般会計は人事院勧告実施などにより、人件費3,991万円、診療所繰出金3,150万円、道路新設改良事業費4,260万円、町債償還元金2,906万円等が減額されました。追加された事業は、町道除雪費5,800万円、救急病院運営費補助金1,410万円、国民健康保険基盤安定制度繰出金1,088万円、地域通貨導入準備交付金100万円、乳幼児医療給付費等615万円です。

一般会計補正予算主な質疑

問 除雪時のマンホール等破損の責任は？

答 除雪業者が確認をします。破損の場合は保険等で対応します。

問 雪対策、支所の対応は？

答 現場主体で対応しています。

問 雪による休校への対応方法は？

答 学校長の判断によりま

問 除雪費の国・県の補助は？

答 これ以上降り続ければ特別交付税を要請します。

問 八重商店街等除雪できない所は？

答 状況により対応、対策本部も必要と考えます。

問 ふるさと病院も経営診断すべきでは？

答 自立的経営を目指して欲しいが、公的支援はしていき

国民健康保険特別会計補正予算

反対討論 杉本武信議員

提案された補正予算は財政調整基金を必要以上に取り崩すもので賛成しかねます。

国民健康保険の基金は少なくとも保険給付費の二〇%が必要と言われます。合併に際して旧町は厳しい財政下で二〇%弱の二億五千万円の基金を造成して新町に引き継ぎました。

ところが新町では既に何度か取り崩し、今回の補正で一億千五百万円になってしまいました。それは一〇%を割るものです。

基金を取り崩す原因のひとつは、一般会計から診療所へ繰出すことになっているものを、特別会計で肩代わりするためです。

一般会計が苦しいとは言え、国保会計へしわ寄せするようなことをしては、国保審議会で説明しても理解されないでしょう。インフルエンザの流行が早まるというニュースもあり、医療費が底をつく恐れがあります。

このような会計処理をすると町財政全体が痩せ細る心配があり、警告の意味を込めて反対します。

を問う

まちの町づくり

員が一般質問を行いました。

行政

問

「まちづくり」「地域活性化」「地域資源の活用」について



中田 節雄

答 新しい町の姿を追求していく

問

町内には多くの資源があり、活用が今後の課題です。本町の活性化のため、「町民参加のまちづくり」を進める一環として、広く町民から提言・

アイディアを募集されてはどうですか。

職員へも提言を求めることにより、個々の能力も分析でき、適材適所に配置できます。町長の見解を伺い

時代は転換期の渦中にあり、旧町の個性ある事業の継続と新たな事業を展開し、新しい姿を見せていかなければなりません。提言いただいたものは貴重なものであり、粗末にできない難しさもあります。職員には守りの職員から攻めの職員に、ユニークな

ます。

答

強力なウイルスの情報は確認していません。県保健部と協議しながら対応していきます。

問

インフルエンザ対策は？

答

強力に進化したインフルエンザへの対応（予防）について

行政

問

平成十八年度予算編成と地方財政法について

答 起債発行は決算統計を見ながら抑制する



真倉 和之

問

予算編成は政治の顔を担保すると言わ

れますが、平成十六年度決算は全体的に財政状況が悪く、公債比率が異常に高く、財政硬直化が心配されます。新町建設計画・過疎地域自立促進計画等へ影響はないですか。

また、地方財政法第五条の三の改正で、起債発行が協議制になり、平成十八年度予算編成に影響があるのか伺います。

答

平成十六年度決算統計の公債比率は一九%で、新たな起債額を抑制する努力が必要と考えます。新町建設計画・過疎自立促進計画への影響は、平成十七年度決算統計を見ての対応が必要です。起債発行の協議制は国県

問

学級規模と学習効果

答

最も効果的な学習効果を得るための指導形態、指導方針、指導組織の教委としての見解は？

一概には言えませんが、二〇人以下の学級は、学習面において若干優位性がある反面、団体競技等スポーツ活動においては不利となる面があると思われま

町政

どうなる？私

12月定例議会では23人の議

問



松田 実

新町建設計画と現状の財政計画に差が

行政

問

来年度予算編成と重点施策を聞きたい

答

十億七千万円の財源不足が予想される地域通貨・イントラ整備・生活交通など取り組む

生じています。十八年度の重点施策で、財政の厳しい中で委託料のあり方を検討することも大事です。支所機能充実には一定の権限と予算づけが必要と考えます。地域協議会の位置づけを明確にしてください。

特別対策債、過疎債などに違いが生じ、歳入歳出で十億七千万円の不足が予想されます。歳出削減に努める中で委託料も考えます。重点施策は新町建設計画に基づき地域通貨導入、地域イントラ整備、生活交通

行政

問

分煙の取り組みについて

答

禁煙・分煙に努める



梅尾 泰文

問

公共施設でのタバコの分煙について、

施設を管理するものはそれを率先して行う（健康増進法二五条）と定めています。北広島町役場本庁・支所等及び公用車においてどう対応されていますか。また管理者である町長の町長室での喫煙について、その後どう改められたかお聞きします。

公共の場である学校施設は禁煙としています。役場本庁は二階・三階は分煙で対応していますが、支所については十分ではありません。公用車での禁煙にも努力しています。町長室については町長の私的空間ではないので、分の充実、企業誘致、農業振興、行財政改革を推進します。支所長決裁権は検討します。

問

学校選択制と安全は？

学校選択制の方向と児童生徒の安全確保

問

人権宣言する考えはないですか。

六月に対策協議会を立ち上げ、検討しています。

人権宣言は？

保護者が通学区を選択されるもので、通学区区域選択検討委員会を設置し検討します。安全確保について緊急APIドゥルを発表しました。学校と家庭と地域を結ぶ教育の集いを全町で取り組みます。

答

地理的条件、調理器具など含め、検討中です。

問

学校の給食センター化について

給食センター化は？

学校に関する教育、食に関する教育、

答

保護者が通学区を選択されるもので、

保について

早急にできることを行っていきます。

問

公害防止条例の制定について

北広島町環境保全に関する条例で対応します。

公害防止条例制定は？

公害防止条例の制定について

問

学童の安全対策は？

学童の安全について

煙機能ができるような対応を行います。

行政

問 犯罪のない安全な町づくりについて

答 警察他関係団体と連携を取り、安全な町づくりを進める



宮本 裕之

問 小学生児童殺人事件など凶悪な犯罪が

後を絶ちません。犯罪のない安全な町づくりに、町としてどこに基軸を置き、どう対応していくのですか。また近年外国人による犯罪が増えているようです。本町には国別・目的別に何人の外国人が住んでおられますか。コミュニケーションを図

答 町民誰もが安心して暮らせる町を築いていくため警察・PTA他関係団体と連携をとりながら犯罪のない明るい町づくりを進めていきます。

ることが大切と考えますが、どのように取り組んでいかれますか。

本町在住の外国人は二五一名であり、主に就労・教育・永住です。国別ではブラジル六九名、インドネシア四六名、中国三三名、韓国・朝鮮三〇名他です。人権センターを活用し、日本語教育や料理教室を開いて、本町になじんでいたくよう努力していきます。

問 新型インフルエンザの予防対策は？

新型インフルエンザの予防対策にどう取り組んでいくのですか。

答 県土木建築事務所の確認申請を受け、日本建築センターのチェックも受けており、大丈夫と判断しています。

答 国県でタミフルの備蓄を進めています。が、予防が大切で広報等で周知していきます。

問 庁舎の耐震性は？

本庁舎の耐震性と構造強度の安全性を再確認するため、構造計算書の再チェックが必要ではないですか。

行政

問 行政区長について

答 平準化が必要



竹丸 学

問 北広島町では行政区が一五九区で区長制が行われています。

一行政区当りの世帯数は多い区で三六八、少ない区は五世帯となり、一区長にかかる仕事量・報酬等もか

なり不均衡と思います。

合併一年目という事もあり仕方ない点もありますが、来年度に向け、どう調整・見直しをされるのかお伺いします。

答 地域住民とのパイプ役として大変重要な任務をお願いしています。

合併協定・協議の中で調整・合意したものを新町に持ち込んでいます。行政区の平準化に向けた検討が必要と考えます。

これからも代表区長会議を開き可能な限り平準化していきたいと思えます。



児童安全パトロール中のステッカー (八重小学校)



日山 静樹

教 育

問 児童生徒の危機管理について

答 危機管理意識をもって指導します

問

広島・栃木県で女児が襲われました。犯罪防備のために具体的な取り組みはされていますか。児童、生徒自身にも自衛力をつける教育も必要と思うが、どうお考えですか。

答

安全マップの作成・地域との連携、通路の点検・見直しを徹底し、子どもを守ります。自分でも自分の身が守れるような意識が持てる教育をします。先生方に危機意識をもって指導に当たってもらいな

行 政

問 行政区規模と区長報酬、どうする不均衡是正

答 合併協定を大切に、今後検討し改善

問

豊平では一五部落を二三行政区に再編しているが、再編は容易ではありません。当面の課題として、区長報酬の不均衡（基本額六万五千元、世帯割額二十四千円）で算定し五戸の行政区の

一戸当り報酬額は約一万五千円。三六五戸の行政区の一戸当り報酬額は約二千二百円。是正が相当と思うが、十七年度はどう支給され、十八年度はどうされるか。

答

十七年度は条例どおりの基本額等で算定し、年四回の分割支給、豊平地域は区長一人の税負担にならないよう、各集落へ分散支払いをしています。十八年度は協定を大切にしながら、部分的には課題があるので、区の規模や運営費交付金の問題については、今後区長会議に諮りながら解決していきたいと考えています。

ど、指導をします。

問 県道川井地区の改良工事は？

問

主要地方道、浜田・八重・可部線の川井地区改良工事の早期着工を求めるが、いつ頃になりますか。

答

歩道設置追加のため建設局に設計変更を要望しています。早期整備促進に努めます。

壬生都市計画道路と町道の接続は？

問

町道、古保利・壬生線と四月完成の壬生都市計画道路の接続はどうなるのですか。

答

地権者との話し合いを進めていきます。接続で環状線的な路線となる計画の重要性は認識しています。



主要地方道 浜田八重可部線



登校風景



室坂 光治

教育

問 児童生徒の登下校について

答 安全安心対策に取り組む

問 先般、広島市安芸区で大変痛ましい事件が起こりました。今以上に通学路の安全対策を見直し、子どもたちが安心して登下校できるよう再検討が必要だと思えます。保護者の方や地域ぐるみで児童生徒を守るため、どのような取り組みが必要か

答 児童生徒の安全を確保するために、役場の公用車によるパトロール、郵便局への協力要請、これも動くパトロール隊として活躍いただけると思

います。
集団下校又は複数での登下校を行い、教職員が見守る、あるいは家まで送るといった具体的な対応を行っています。
今後、関係課と連携を図り、より安全安心な登下校に協力します。



藤田 重昭

教育

問 教育マスタープランは

答 人が輝くまちづくりに

問 町長の公約である少子化対策、定住促進対策の中で学校教育の位置づけを伺います。次に、町民から信頼され、魅力ある学校教育推進のための教育マスタープランについて伺います。

答 (一)、教育の向上、教育環境の整備等について、教育委員会と協議し、

支援していきます。
(二)、合併協議会の教育振興ビジョン、町長の方針等を参考にして、北広島町教育推進プランを作成中です。
(三)、文部科学省の委嘱事業で、地域に根ざした教育行政の在り方を求めるものです。提言に基づいて具体的改善が行われ、学校教育の振興に役立つよう町長の公約である「人が輝くまちづくりに」活かしていきたいを思います。

問

新たな法律では、例えば障害者年金七



杉本 武信

万円程度の人で、一万円前後の負担となり、障害者は負担を感じておられます。当地域は障害者福祉施設の整備が遅れており、他地域に頼らざるを得ない実情にあります。

来年度から福祉事務所が設置される事でもあり、担

答

従来の応能原則に加え、新法では応益原則が導入され、新たに負

福祉

問

障害者自立支援法にどう取り組むか

福祉事務所スタートに向け早急に取り組む

当部局や相談窓口、地域活動支援センターや施設整備など積極的に障害者対策に取り組むべきと思うがどうですか。

答

従来の応能原則に加え、新法では応益原則が導入され、新たに負

問

相次ぐ児童の殺傷事件が発生し、被害



藤堂 修壮

に遭われた皆様のご冥福をお祈りします。

事件のひとつは山間地での出来事でした。同じように広い本町では安全の目は行き届くのですか。

バス通学の規制緩和、地域全体の防犯対策、パトロールの強化や地域と子どもの

答

安全安心の町づくりのため、各課各団体と連絡調整会議を行っています。

学校でできる事、地域で

教育

子どもの安全対策は

町全体の取り組みに期待

ふれあい、防犯グッズの使い方や音の周知など、早急な取り組みと対策を伺います。

答

安全安心の町づくりのため、各課各団体と連絡調整会議を行っています。

学校でできる事、地域で

問

若者（青年）に活動の場が必要では。

青年活動の場を！

できる事、また保護者と連携し安全マップや啓発文書を配布したり、防災無線などで周知し安全確保を図ります。

何より大切なのは地域の目であり、協力をお願いします。

防犯ブザーの音は教育委員会分室を通して住民に知ってもらいます。

答

次代を担う若者のエネルギーが発揮できるよう、社会教育の重点として取り組みます。

土木工事の進捗状況は？

問

平成十七年度公共土木工事の進捗状況はどうですか。

答

台風被災のため発注が遅れはあります。また豪雪のため年度内完了が心配です。

問

公平で住民に理解と納得の除雪を進めるため、除雪基準を策定して住民に示してはどうですか。

答

除雪を始める積雪深や時間などの基準を定め、各戸へ文書で除雪作業に協力をお願いします。

- 町内の障害者
.....一五〇六名
- 居宅生活支援受給者
.....四九名
- 施設入所者.....五一名
(全員町外)

福祉

問 下水処理施設の整備と管理は適切か

答 小型合併浄化槽の管理費補助周知と申請手続きの簡素化に努める



藤井 勝丸

問

源流域、水源地として河川の汚濁防止生活環境の保全等に寄与するため下水処理等の推進は重要です。

- (一) 下水道整備状況の現状
- (二) 小型合併処理浄化槽の

維持管理は適正か。
(三) 維持管理費の補助金申請の周知方法は、申請手続きの簡素化等親切な指導を求めます。

答

(一)、下水道の整備状況は、町全世帯の水洗化率が七二・三％（そのうち小型合併浄化槽一七七四基二一％）
(二)、小型合併浄化槽の管理者と管理契約を結び適正に管理するよう指導しています。
(三)、区長回覧文書の他、個別に申請するよう各戸に通知し、手続きを簡素化することとしています。

河川改修について

問

河川改修のため買収した用地（荒廃地）の管理と、堆積土の除去について伺います。

答

先行取得しているが事業が遅れている。県に対して引き続き要望していきます。

福祉

問

浄化槽の管理など身近な行政を大切に

答 役所仕事から脱却して納得の行政を



高原 和彦

問

町内八三〇〇世帯のうち六〇〇〇弱の世帯が公共下水、集落排水合併処理槽で汚水処理されています。

これらの施設の維持管理をはじめ住民に身近な住環境の整備について、各地域の町民が理解し納得できる

答

下水や合併浄化槽の維持管理など地方行政の全般について、住民の目線に立って「これでよかったか。説明は不足していないか。」を常に考え、

問

合併二年目に向けて取り組みます。
そして町民に更に近づき納得される行政、職員を目標として努力します。

暴力追放アピールは？

答

暴力を排除する姿勢を積極的にアピールする必要はないですか。
関係機関と連携し、広域犯罪、暴力団の追放等に取り組みます。



小型合併処理浄化槽の設置状況



中村 勝義

産 業

問 **新たな経営所得安定対策の周知は**

答 二月から町主催で説明会を開催していく

問 平成十九年度から導入されるこの制度は、担い手の経営に着目した戦後最大の農政改革です。十八年度秋までに要件をクリアする担い手をつくり上げなくてはなりません。

残された時間はそれほど長くない、農家への周知、徹底と意欲の喚起が最大の課題です。今後どのように進めていけるのですか。

問

本町には多くの公施設があり、使用さ



久茂谷美保之

福 祉

問

公の施設の他目的利用と八幡保育所の設置について

答 地域協議会で検討
八幡保育所については地域と話し合う

れていない空いた施設を老人のためのケアハウス、グループホームなど多目的な利用を考えるべきと思うがどうですか。

八幡保育所については、教育委員会と福祉課との連携が必要であり、へき地保育所や私立、公立保育所の

分所などいろいろいな面から検討すべきと思うが、考えを伺います。

答

空施設もあり、多目的に使用することが最適だと思います。それぞれの地域協議会で検討していきます。

問

公共事業の発注時期について

公共事業の発注時期について、新年度になったら早期発注を。

答

平成十七年は災害などによって発注の遅れがありました。十八

答

町は平成十九年春までに対策の計画を申請する必要があります。

農地集積面積は認定農業者四ha、特定農業団体二〇ha、中山間地域で特に知事が認めた場合は一〇haとなっています。

県・農協とも連携しながら認定農業者、地域農業集団を中心に町主催の説明会を開催しながら体制づくりを努めます。

問

路面舗装と道路標示等は春の工事を

路面舗装と道路標示などは、秋の工事だと除雪で無駄になるので、春の工事を望みます。

答

秋に集中することが現実にならなくなっています。建設局と協議をしていきます。

問

学校選択制の今後の展開は？

学校選択制度のことからの展開について伺います。

答

今年度末までに検討委員会を立ち上げ、十八年度で周知徹底を図り、十九年度に全町の小・中学校で実施します。

年度は発注の時期を早くするよう努めます。

産業

問

新町における町道整備の基本的な方針は

答

基本的には新町建設計画にそって進める

問

町道は優先順位で整備がされてきましたが、交通量が少ないため舗装の恩恵に浴さない地域があります。これを解消することは新町の重要課題で、現状を含

め伺います。

- (一) 町道路線数、未改良未舗装路線数、舗装損傷路線数。
- (二) 整備計画は。
- (三) 町道整備にあたって公平性と優先順位の整合性に

ついて「要件は」。

答

(一) 合併新町全路線数は、二二〇六路線、八三・一km。内未舗装は二五〇km舗装率七〇%。未改良は六一路線、舗装損傷路線は一五路線。

問

暴追と防犯対策は？

暴力追放と防犯対策、現在の協議会は総会型の活動になっていないですか。

答

年末に北広島町対策協議会を開き、携帯ベル、監視カメラ、パンフや街頭からのお願いをします。

安全な登下校への取組みは？

問

子ども達の安全な登下校について、学校の取り組みはどうなっていますか。

答

集団登下校の指導、徹底、校内の見廻り、保護者への協力要請、危険箇所のマップ作りを進めます。

産業

問

農政の大転換「担い手育成」は待ったなしです

答

地域づくりと農業政策の一体化を図り、担い手育成に全力をあげる

問

次期農政改革は、これまでですべての農家を対象にしてきた品目毎の価格政策から、「担い手経営」に着目した所得改革に舵を切るといっています。「市場原理」に基づく農

大石 敏之

政改革は、地域農業の崩壊と、地域社会の衰退に拍車をかける恐れもあります。地域農業の将来像を描き、対応が求められます。

答

この政策は、本町の実態と相違もありませんが、基本的には制度改革に対応すべく活用を進めます。

担い手育成は、集落機能の維持を含め、これからの地域のあり方について「担い手づくり方策」を策定し、全力を挙げます。さらに、地域づくりと農業政策の一体化を図ることが必要です。



問

企業誘致については町長のご努力によ



蔵升 芳信

企業誘致については町長のご努力により、一方進出企業からは、人材不足のため従業員確保ができないとのこと、生産年齢世代である若者の定住促進対策としての支援制度、近隣市町との雇用に関する連携等、人材確保に対する取り組みについてお考えを

伺います。

答 北広島町地域産業活性化推進会議において、各事業者からも従業員確保の困難さは伺っています。町と企業の連携による取り組みが可能な感触もあり、その具体化に向けて検討を図ります。

産 業

問

生産年齢世代の定住促進及び求職者の人材確保は

答

本町出身者に対する情報発信等を展開する

り明るい兆しが見えています。

伺います。

町長の葬儀参列について

また、高校生を対象とした企業視察研修の実施、地域通貨制度による若者定住促進対策等も積極的に推進します。

問

町長の葬儀における香典供与等の是非と代理参列者のあり方について伺います。

答

行政改革審議会での審議をお願いし、今年度中には見直しの方向で結論を出します。

産 業

問

北広島町の農業振興策は

答

情勢に合わせて対応する



箕牧 智之

そばの花を見ながら、北広島町の農業の将来はどうなっていくのか不安に感じます。今は期間限定の中山間地直接支払制度で持ちこたえています。これからの農

業の力を養うためにも三位一体改革で移譲された税源を農業振興の為に使うよう、農村出身の首長は中央へ訴えるべきと思います。農業への力強い意気込みを聞かせて下さい。

答

国の農業の大転換にともない、本町も農業体制を整理しなくてはなりません。食料の安全、安心の確保、足腰の強い農業を国に訴えるところです。その為に必要な予算の確保をすること、農地や水を守り、環境保全の対策も必要かと思えます。



千代田工業団地 新工場

産 業

問 森林保護、加計山麓の有効活用策は

答 自然環境、治山治水に配慮
活用策を調査研究する



伊藤 久幸

問

山林は水源、涵養、防災、生態系や景観保全など多様な公益的機能を有します。
(一)、源流の町に相応しい森林保全と育林活用の方策はありますか。
(二)、セーフガードの意味合いで買収した加計山麓の有効活用は今後どのように計るのですか。
(三)、森林に対する直接支払制度があるが、来年度以降導入の意志はありますか。

答 (一)、作業計画は旧町計画を継続していただきます。計画が完了した時点で再度計画を見直し検討します。

(二)、現時点では具体的な開発計画はないが、自然環境、治山治水に配慮し、森林の持つ公益的多目的機能を考慮しながら活用方策を調査研究します。

(三)、森林整備地域活動支援交付金制度で十九年度から事業の活用を検討します。

問

大朝インターのバス停を安心して乗降できるように改善できませんか。

答

日本高速道路(株)国支社に対して、一定の整備方針を示しながら必要な改善対策を協議します。

答

新町建設計画で平成二十年度から調査・測量と計画を進めます。

産 業

問

新しいアイデアの募集とサポートする制度を

答 芸北広域農道採択計画の中で考えていく



浜田 芳晴

問

農業の産地、産品は人づくりから、人から新しいアイデアを募集し、それをサポートする体制を考えてみてはどうですか。

例えば土作り、そこで育ったこだわりの米、六次産品とその品揃え、産直市の大型

答

化、また法人化の準備として中山間事業で集落全体を囲うイノシシ対策など、アイデアを出しあつて取り組んでいくべきではないですか。

答

六次産品推進協議会を設置して研修会

問 瀬山・萩原線の改修計画は?

計画の拡大は広域農道採択計画をJA、農林局と協議作成中で、その中に農産物の拠点作りをして、販路の拡大を図っていきます。

問

瀬山・萩原線は採石場等の産業用道路で傷みが大きく、改修の計画はないですか。



六次産業研修会

産 業

問

新規就業者の確保と定住対策について

答

定住環境の整備は最重点課題として取り組む



服部 照雄

問

既存企業の増設や工業団地への新規企業進出等経済環境に少し上向き傾向が見えています。しかし町内企業にとつて人材の確保が、生活環境等によりかなり困難となつて

きています。

住宅供給、人材情報、就職相談業務の充実をはじめ、

若者が働きやすく、住みやすい環境づくりをどう進めていくのかお伺いします。

答

本町も雇用の拡大が進んでおり、地域産業活性化推進会議の開催も含め、情報提供により、民間レベルでの建設に期待しています。就業情報もハローワークと連携し相談所も二ヶ月に一回開催し、ホームページ、広報等で公開していきます。

また、道路網・住環境の整備や、子育て支援、学校教育の充実向上等諸施策を実施していきます。

条例制定及び一部改正…可決

北広島町福祉事務所設置条例について
みはらし公園設置及び管理条例について
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
芸北農村広場施設設置及び管理条例の一部を改正する条例について

請願…採択

八幡幼稚園廃園後の平成十九年度より保育所を設置することに関する請願書

八幡地区に保育施設の設置を求める会

代表 中村 英信



議員発議…採択

「火葬場問題調査検討特別委員会の設置について」

構成二五名（議長を除く全議員）

提案理由

千代田地域火葬場に緊急なる措置を講じる必要がありますが、このことについて現状修繕、改築、広域行政運営、将来展望を見据えた町内設置など多くの事案が考えられます。また執行者においては、安芸高田市との協議会を設置されている経緯もあり、議会としても十分な議論の中で結論を得るべきと考え、特別委員会の設置を提案するものです。



慈光苑（千代田地域）

委員会の活動報告

総務常任委員会

- 十一月十六日
 - 請願について
 - 企画課関係勉強会
 - 視察（住宅団地、新庄学園）
- 十二月六日
 - 視察（芸北中学校、加計高校芸北分校）
- 十二月十五日
 - 企画課関係、教育委員会関係勉強会
- 十二月十六日
 - 陳情書、要望書について

福祉保健常任委員会

- 十一月十六日
 - 町内医療福祉関係の視察研修
 - 大朝ふるさと病院
 - 特別養護老人ホーム「やまゆり」
 - 雄鹿原診療所
 - 芸北歯科診療所
 - 豊平病院
 - 芸北地区火葬場（浄寿苑）以上の施設について視察し、管理者から説明を受け

産業建設常任委員会

- ました。
- 十一月十日
 - 八重西地区の環境整備について勉強会
 - 十一月三十日
 - 島根県仁多町、奥出雲町視察
 - 十二月一日
 - 地域振興、農業研修（旧町四地区）
 - 十二月二日
 - 町道維持改良現地調査（豊平地域）

議会傍聴記

思いの外大雪となりましたが、合併後の議会を傍聴する良い機会と思い、十二月二十日の議会の傍聴に行きました。傍聴席には十数名の方が居られました。ただ若い人が居られなかったのが少し淋しかったです。

「小学生の幼い命が奪われる」という事件の後なので、

議員さんの質問も子どもたちの安全をどう守るのかということが多くありました。皆さんの真剣に討議される様子を、良い町を作ろうという情熱を感じました。

芸北地区
宮本 洋征



芸北地域奥原線、平成17年12月13日、40cmの積雪に除雪車出動。全国各地で、12月としては記録的な大雪となった。

あ と が き

大雪の年となりました。三十八年豪雪を思い出す方もあるでしょう。

十二月定例議会は、雪害対策で議論が噴出しました。除雪の予算はとも足りそうにありません。

雪ずりによる痛みしい事故もありました。大雪に苦勞をされた町民皆様のご意見を大切に、今後に生かしたいものと思います。

